

学会賞受賞者選考委員会

担当理事：高後 裕

委員：大西洋英、岡 政志、濱島ちさと、細川 治、松浦邦彦、松田一夫、三原修一、渡 二郎

委員会開催：1回

1. 第35回有賀記念学会賞選考について

選考基準により厳正に審査した結果、次の2名を候補者として推薦し理事会で承認された。

○鎌田智有（川崎医科大学健康管理学）

研究業績：ペプシノゲンとピロリ菌、萎縮性胃炎に対する研究

○伊藤高広（奈良県立医科大学放射線医学教室）

研究業績：胃がん検診活動及び胃がんリスク分類を考慮した胃がんX線検診の診断基準における研究

上記受賞式及び受賞講演は2017年6月23日、第56回総会時に行う。

2. 第15回学術奨励賞選考について

日本消化器がん検診学会雑誌（Vol. 53(3)～54(2)）の掲載論文の中から優れた論文を委員より推薦を受け、選考を行い、理事会で承認された。

《受賞者と対象論文》

学術奨励賞 3名

1位：瀬古千佳子（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学）

対象論文：ヘリコバクター・ピロリ感染者における慢性萎縮性胃炎の進展に及ぼす因子
—摂取栄養素分析による検討—（54(1)）

2位：佐藤恒信（ちば県民保健予防財団総合健診センター）

対象論文：対策型胃X線検診での萎縮度評価とABC分類の年齢階級別対比
—高齢者ではA群でも萎縮進行例が多い—（53(6)）

3位：中野 真（大宮医師会胃がん検診委員会）

対象論文：胃がん個別X線検診での背景胃粘膜の萎縮度を考慮した読影基準の改定（53(4)）

上記受賞式及び受賞講演は2017年6月23日、第56回総会時に行う。

3. 国際研究助成及び国際学会参加支援について

本年度は対象者なし